

週報

国際ロータリーテーマ

人類に奉仕する
ロータリー

Vol.50 第2412回例会

2016.7.28

今年度会長テーマ

ありがとう50周年！ひとり・ひとりが主人公

■司会：中丸例会運営委員長

■点鐘・挨拶・会務報告

金子会長

宜野湾ロータリークラブの
柏田会長からお手紙と週報
とオキナワグラフを頂いた。お
手紙は回覧して、該当記事
はカラーコピーにして全員に
配布して拝読させていただきました。オキナワグラフの中
に戸澤前年度会長が友好
クラブとして来賓のご挨拶された記事が載っている。宜野
湾ロータリークラブがエコ思想推進宣言碑を創立50周年
記念事業の一環として宜野湾市に寄贈した記事が載って
いる。宜野湾RCには電話を入れてお礼のご挨拶を送った。



■合唱：

ロータリーソング「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：村田会員

■お客様紹介：

當麻パスト会長



■幹事報告

北久保幹事



■ガバナー事務所：

- 1) ロータリー財団100周年記念シンポジウムの案内につ
いて→会長幹事、地区委員、交換留学生
- 2) 青少年奉仕委員会在京・地区青少年奉仕委員会全体
会議の案内について→山本委員長
- 3) 青少年交換委員会第51回派遣学生（2015年夏）の帰
国報告会及び来日学生との合同歓迎会について→会
長幹事、中丸カウンセラー、ホストファミリー（石山
会員、中條会員）
- 4) ロータリー財団委員会地区ロータリー財団委員会の案内に
ついて→當麻地区委員長
- 5) 国際ロータリー日本事務局8月のロータリーレート
→1ドル102円
- 6) 多摩分区ガバナー補佐財団100周年に関して（R財団
を祝うイベントの予定依頼）→会長幹事
- 7) 例会変更 東京豊島東RC：8/17（水）→休会

■出席報告

野澤（厚）会員

会員数：29名
欠席：5名
本日の出席者：21名
出席率：80.77%
前々回出席率（修正後）：
85.19%



■ニコニコBOX

森田会員

- ◆富田様、大山様：10/19
（水）フォレスト・イン昭和
館にてI・Mを開催します。
- ◆金子会長、北久保幹事：
I・M実行委員長富田様、
副実行委員長大山様、よ
うこそお越し下さいました。
野外活動連盟会長山中
様、卓話よろしくお願ひします。



■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／岩原 隆

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

- ◆石山会員：先週はお休みさせていただき、北海道へゴルフしに行ってきました。
- ◆當麻会員：富田実行委員長、お久しぶりです。
- ◆野澤(秀)会員：山中会長、本日の卓話よろしくお願ひします。福生RC様、I・M頑張ってください。
- ◆野崎会員：7/23、24と南相馬市の野馬追祭りに行ってきました。
- ◆小町会員：富田様、大山様、遠方よりありがとうございます。また、山中様、本日はよろしくお願ひします。
- ◆田中会員：I・M楽しみにしております。大山様、幹事同期でお世話になりました。
- ◆野村会員：山中会長、本日の卓話ありがとうございます。
- 合計32000円 ●累計248000円

■お客様ご挨拶

■I・M 実行委員長 富田勝也様：

今回のIMは地域をPRした方がよいと思います、福生流のIMをご覧に入れたい。講師には「米山梅吉物語」の一龍齋貞花師匠・古典落語の「人情噺」三遊亭鳳楽師匠をお呼びしています。皆様期待してこぞって来てください。



■I・M 実行副委員長 大山剛様：

IMを10月19日に行います。IMって何の略かと思ったのですが「行ってらっしゃい、見てらっしゃい」だと思ふ。ぜひ皆さん参加の程お願ひします。

■委員長報告

■田中米山奨学会委員長：



ロータリー米山奨学会より2016年度上期普通寄付金のお願ひが来ている。会員一人当たりの寄付額は前年度同額若しくは同等以上になるようにお願ひします。

■卓話

■卓話者紹介： 野澤秀夫歩こう会 実行委員長

山中久男さんは現在、野外活動連盟会長で総務省の行政相談委員、東村山市のスポーツ推進審議会の委員等をされている。ブログで「老頭兄(ロートル)おじさん奮闘記」を書いている。



■卓話者： 野外活動連盟会長 山中久男様



歩こう会について

野外活動連盟は昭和41年に東村山市教育委員会が主催したキャンプ指導者講習会で青年団の若者たちが参加してキャンプの素晴らしさを市民の若者たちに広めようと言う事で当時萩山小学校の教頭の熊沢先生を会長に協力と奉仕を合言葉に昭和43年10月に都内で初めての野外活動連盟として発足した。

市民歩け歩け運動、野山にコンパスと地図を持ってポストを探すオリエンテーリング大会、こま図を見ながら市内を歩いて課題等を解いて回るウォークラリー大会を現在行っている。

歩け歩け運動は昭和45年3月にスタートした。当時はノーカー運動が叫ばれたところでノーカーデーの一環で行った。回数は年2回で、春は新緑の市内秋は紅葉の郊外のコースを設定した。歩く距離はだいたい12～15キロで昼食をはさんで行った。平成20年から目先を変えて七福神巡り取り入れた。

現在は距離を短くして昼食なしで解散している。東村山市の歩け歩け運動の主権は教育委員会が主幹が野外活動連盟でコースの設定から当日の運営を行っている。募集は開催1ヶ月くらい前に市報で行う。ポスターをスポーツセンターや市の施設に貼ってもらって募集をしている。実地調査を少なくとも2回は行い、一番留意している点は集合場所の確保とトイレの確認。コースの交通量と歩車道の有無と交差点の渡り方に留意している。名所旧跡の確認と入場料の有無も必要。先頭と最後尾を決めて途中に役員を入れてトランシーバーで確認しながら行う。参加者の方にはバッチを配っている。参加年数に合わせて金銀銅のバッチを配って継続参加を促している。現在は女性の参加の方が多く7対3ぐらいの割合です。



■お礼：金子会長

山中会長様のお話を聞きまして、私共も肩の荷が下りてきて、よしやってみようという気になってきた。今後ともご指導の程よろしくお願ひします。

■閉会点鐘：金子会長